

第8節 6日目：3月15日（火）：行橋～中津 快晴

2022年3月15日（火）快晴、北九州の旅の6日目は、日豊本線の行橋駅から中津駅までの26.8kmに挑戦する。今回の旅で最も長い区間となる。ホテルで朝食をとり、6時53分の電車で行橋（ゆくはし）駅まで移動する。門司行きで、日豊本線の旅では長い8両編成だった。乗客も多かった。途中、川の他、丘のような箇所があった。本日のコースは、幹線道路と鉄道がほぼ並走しており、路に迷うというリスクは少ないと察知する。



※中津駅、行橋駅



※行橋駅

本日の到着時刻は次の通り。

行橋（7:32）～南行橋（8:15）～新田原（しんでんぼる、9:38）～築城（つきぎ、10:51）～椎田（しいだ、11:51）～豊前松江（ぶぜんしょうえ、13:31）～宇島（うのしま、14:30）～三毛門（みけかど、15:37）～吉富（16:26）～中津（17:38）

①駅ホームからホテルが見えて来る。高知駅や宮崎駅と駅舎構造が似ていた。昨日の状況を何人かの友人に SNS で発信。作業が終わった時は、いつの間にか築城駅であった。行橋駅周辺をデジカメに収めてから、南行橋駅に向かう。7時41分、正八幡宮で本日の安全を祈願する。7時47分、万歩計で177歩ある今川橋（いまがわ）を渡る。8時8分、豊津街道踏切を横切り、鉄道の右側となる。この先、小川があり、多少無駄な歩きとなる。南行橋駅には8時15分到着する。



※今川橋、豊津街道踏切、南行橋駅



※南行橋駅、新田原駅への路

②小犬丸踏切界限で行き止まりとなり、引き返す場面あり。結局、この踏切を横切り、鉄道の左側となる。8時41分、行き止まりの住宅街に入る。8時45分、復帰する。8時48分、幹線道路に出る。羽根木という地名だった。9時4分、万歩計で145歩ある祓川（ほちかわ）を渡る。9時10分、高速道路下を潜る。9時23分、暑くなったので、シャツ1枚脱ぐ。9時26分、門司から39km地点に到達。9時30分、中津23km、豊前17km地点に到達。新田原駅には9時38分到着。駅前には太陽交通タクシーの営業所があった。



※新田原駅

③10時、故郷香川でよく見かけるため池前を通過。その先に鯉のぼりが泳ぐ店があった。10時13分、築上町界隈で林となる。10時40分頃、国道10号線から築城駅が見えるが、店舗などがあり、駅舎には近づけない。10時46分、300m位引き返し、築城踏切を横切り、鉄道の右側となる。その先を道なりに歩いた先に築城駅（10時51分）があった。駅前には立派なマキノ木があった。



※築城駅への路、築城駅



※築城駅

④11時1分、西川津田踏切を横切り、鉄道の左側となる。またもため池に遭遇。11時18分、万歩計で159歩あるため池の間を歩く。11時25分、城井川を渡る。11時36分から岩丸川を跨ぐ小井側道橋・寿側道橋(195歩)を渡る。11時43分、築上町役場前を通過。椎田駅には11時51分到着。



※椎田駅への路



※椎田駅

⑤12時8分、椎田小学校前を通過。12時17分、大分91km、中津15km地点に到達。12時18分、金富八幡宮前を通過。12時35分、JR線が直ぐ左手にあり安堵する。大分行きのソネットが通過して行く。12時48分、89歩ある福間橋（上ノ河内川）を渡る。



※豊前松江駅への路

12時54分、用心した余り、大事な地図のロストに気付く。後で考えたところ、ポケットの外に格納したと思われるが、ロストに気付かず。このような事態はこれまで何度も体験。函館本線の妹背牛（もせうし）駅界限での失敗談が懐かしく思い出される。ここからは、電柱や線路の”鉄道案内人”に加え、第六感の頼りやネットなどを適宜検索しながら進む。



※豊前松江駅

13時1分、海がチラリと見えて来る。13時7分、築上町から豊前市となる。13時12分、豊前おこしかけ（道の駅）まで2km地点に到達。13時15分、鉄道を跨ぎ、JR線の右側となる。13時25分、門司まで51km地点に到達。13時31分、豊前松江駅に到着。



※豊前松江駅、宇島駅への路

⑥13時51分、国道10号線と県道113号線の分岐点で、右往左往する。鉄道の方向性を見極めて県道113号線に進路（大分86km、宇佐28km、中津9km）を変更する。14時8分、鈴子川を渡る。特急停車駅の宇島駅には14時30分到着。大分行きの特急が停車していた。”電車が見える公園通り”で暫く立ち止る。



※宇島駅



※電車が見える公園通り、三毛門駅への路

⑦14時58分、別府70km、中津7kmと記した道路標識前（豊前市宇前）を通過。赤熊バス停（豊前市バス）が直ぐ近くにあった。15時26分、ため池前を通過。15時37分、三毛門駅に到着。この駅は幹線道路から300m位入ったところにあった。



※三毛門駅

⑧15時58分、豊前市から極小の吉富町に入る。16時4分、吉富中学校前を通過。16時5分、190歩ある佐井川を渡る。この先で交差点があり、鉄道を跨ぐ。高架した道路を上るかそれともそのまま直進するか右往左往する。近くの住人の方に聞こうとするが、人の気配はなし。鉄道の方向性を確認し、この高架は上らず、真っ直ぐの道筋から途中、左折した路地を進む。途中、地元の人に対面し、今歩いている路筋を歩いた先に吉富駅があるとのことであった。16時23

分、吉富小学校があった。その先に吉富駅があった。狭い路地階段を取り抜け、やっと吉富駅改札口（16時23分）に到着。正解の道筋は、高架した道路を上り、JR線を横切り、吉富駅交差点の案内板に沿って300m歩いたところにあった。



※吉富駅



※吉富駅、吉富駅の表示

⑨中津川駅への道筋、この交差点を經由して中津駅を目指す。16時36分より、山国川（山国川側道橋：399歩）を渡る。この川の中央に福岡県と大分県の県境があるとのことであった。中津駅はこの幹線道路を直進した先にあった。途中、16時57分、中津大神宮と中津城に立ち寄った後、中津城駅（17時58分）に向かう。運悪く、中津城への観光は16時45分とのことで、入城できず。



※山国川、中津城



※黒田官兵衛と光姫



※中津駅への路、中津駅

⑩ホテルで汗を流した後、和風味処”鬼太郎”に出向き、最後の中津での夜を楽しむ。



※鬼太郎で祝杯



※ふぐひれ酒と鯛のあら煮で祝杯

第9節 7日目：3月16日（水）：行橋～小倉 快晴

2022年3月16日（水）快晴、北九州の旅の7日目は、日豊本線の行橋駅から小倉駅までの25.0kmに挑戦する。昨日この区間の地図をロストしたため、電柱や線路を”鉄道案内人”として歩くことを余儀なくされる。すなわち、不案内な土地を地図がない歩きとなり、今回の歩きで最も試練となるコースとなった。すなわち、難問の数学やパズルを解くような心境で臨むような一日となった。昨日、不要になった衣類は、宅急便で送り、出来る限り身軽にしたリュックを背負って臨むことにする。



※おふくろ亭で朝食をとり、中津駅に向かう



※中津駅前、中津駅からのお世話になったホテル



※行橋駅

各駅舎の到着時刻は次の通り。

行橋 (7:32) ～小波瀬西工大前 (8:35) ～苅田 (かんだ、9:50) ～朽網 (くさみ、11:06) ～下曾根 (12:10) ～安倍山公園 (13:14) ～城野 (じょうの、14:00) ～南小倉 (15:15) ～西小倉 (16:05) ～小倉 (16:23)

①本日のコースは、概ね国道10号線にあることが、運よく頭にインプットされていた。しかし、地図で後日確認したところ、NGであった。現地の状況を勘案しながら歩く方針が正解で、結果的に大成功。行橋駅前の交番で、「これから各駅舎立ち寄りながら、小倉まで歩くのですが、国道10号線を歩けば行けますか」と質問する。「行けるところと行けないところがあります」との回答を得る。それ故、鉄道にできるがけ近い箇所を歩くのに心掛ける。



※ラッキーにも苅田への道筋看板発見、小波瀬西工大前駅への路

7時40分、鉄道下を潜り、鉄道の右側に出る。その先で苅田への道路標識を見つける。再度、道路下を潜り、鉄道の左側となる。何人かの地元の人に聞き、「この路を歩けば、小波瀬西工大前駅に行ける」とのことで安堵する。7時57分、万歩計で64歩ある小波瀬川橋を渡る。



※小波瀬川橋、清地神社

8時4分、猪熊北交差点に到達。8時10分、清地神社前で本日の安全を祈願する。8時16分、県道254号線(須磨南原曾根線)の苅田町新津交差点に到達。8時21分、線路が右側にまもなく見えて来て安堵する。8時29分、JR線を横切り、鉄道の右側となる。道なりに歩いた先に、本日最初の小波瀬西工大前駅(8時35分)があった。線路に沿った高台に西日本工科大学のキャンパスがあった。また、大学の反対側に病院施設があった。



※小波瀬西工大前駅への路



※小波瀬西工大前駅



※小波瀬西工大前駅、西日本工科大学、苅田駅方面の風景

②8時39分、鉄道を跨ぎJR線の左側となる。8時52分、行き止まりとなり、鉄道を横切りJR線の右側に出ようとする。しかし、地元の人から「鉄道の左側を歩いた方が、苅田方面に向かうのに分かりやすい」との情報を聞き、引き返す。8時56分、くねくねとした路地を歩き、県道254線に合流する。9時3分、屋倉すみれ幼稚園前を通過。9時30分、宇原神社前を通過。その先で道路から20m位下の広場でゲートボールをしているグループがあった。また、遠くには住宅街があった。ネットで確認したところ、ラッキーにも苅田駅が近いことがわかる。それ故、急なスロープを下り、商店街に近づく。9時46分、JR線下を潜る。その先に苅田駅(9時50分)があった。



※苜田駅への路、遠くに苜田街並み



※街並みが広がる、JR線下を潜る



※苜田駅

③10時6分、苜田小学校前を通過。暫く JR 線の右側を歩く。10時27分、高速道路下を潜る。10時30分、三村踏切を横切り、鉄道の左側となる。10時33分、県道254号線に合流する。10時36分、苜田町から北九州市となる。10時42分、朽網みどり公園前を通過。10時58分、東朽網橋を渡る。朽網駅には、11時6分到着。



※苜田小学校、朽網駅への路



※朽網駅への路



※朽網駅



※朽網駅、下曾根駅への路

④ホームを経由して、鉄道の右側となる。路地を歩く。11時33分、国道10号線に合流する。西松屋が交差点近くにあった。70歩ある新田橋を渡ると上曾根という地名となる。11時51分、高速道路下を潜る。12時10分、街並みが広がり、間もなく歩くと下曾根駅に到着する。



※下曾根駅への路、下曾根駅

⑤12時16分、竹馬川を渡る。12時23分、寺迫口で高速道路下を潜る。12時33分、更に高速道路下を潜る。右手に安倍山が見えて来る。2両編成の特急バスを見かける。13時14分、何人かの地元の人の世話になり、やっと安部山公園駅に到着できる。幹線道路から少し入った、非常に分かりにくいところに駅舎があった。



※下曾根駅、特急バス、安部山



※安部山公園駅

⑥13時19分、小倉南区湯川で山口91km、下関25km、小倉北6kmの道路標識前を通過。城野駅には14時到着。この駅には日田彦山線への入口があった。



※城野駅への路、城野駅



※城野駅

⑦前方に北九州モノレールが見えて来る。14時17分、モノレール下を潜る。14時33分、JR線下を潜る。複雑な高速道路下を潜りながら、地元の人に聞きながら、南小倉駅を目指す。14時49分、万歩計で187歩ある紫川を渡る。その先に篠崎八幡宮がある。やっとのことで南小倉駅に15時15分到着。駅舎はJR線の右側にあり、陸橋を経由し鉄道を横切り近づくことを余儀なくされる。それにしても、川や高速道路が絡み、事前勉強した通り、本日のコースの中で南小倉駅への道筋は最も複雑であった。



※南小倉駅への路



※南小倉駅への路



※紫川、篠崎八幡宮



※南小倉駅



※南小倉駅

⑧一方、南小倉駅から西小倉駅への道筋は、幹線道路を繋なぎ合わせて歩いた先に西小倉駅（16時5分）があった。



※西小倉駅への路



※西小倉駅

⑨16時12分、万歩計で142歩ある室町大橋を渡る。鹿児島本線踏破の際歩いた、見覚えのある商店街通りを經由し、小倉駅には16時23分到着。この駅で日豊本線の踏破が完成する。16時35分、宮地嶽神社で達成の報告をする。



※室町大橋からの眺め、商店街を通り小倉駅へ



※小倉駅



※小倉駅と宮地嶽神社前で記念メモを

⑩鹿児島本線の際利用させて頂いた、懐かしい東横イン小倉駅南口には16時49分到着。汗を流した後、ホテルで紹介を受けた活魚料理”小文字”に出向く。ここで”日豊本線踏破”と”九州一筆書き達成”を祝って祝杯をあげる。



※小文字で祝杯！！

第10節 10日目：3月17日（木）：小倉城散策&帰宅 晴れ

2022年3月17日（木）晴れ、北九州の旅の第8日目は、小倉城界隈の観光の後、自宅へ。



本日の流れは次の通り。

①ホテルを8時過ぎチェックアウトし、八坂神社へ。



※八坂神社への道筋

②八坂神社参拝（8時半より）



③小倉城周辺散策 (8時45分)



④小倉城の鑑賞 (9時～10時5分)



※草刈正雄のわかりやすい解説 (ビデオ)



※黒田家と小笠原家（家康と光秀の血筋が一本化情報にビックリ）



トップ（大阪城）、2位（名古屋城）、3位（島原城）、4位（熊本城）、5位（姫路城）、6位（小倉城）、7位（小田原城）、8位（広島城）、9位（福山城）、10位（若松城）



※天守閣の南側からの眺め

⑤松本清張記念館の鑑賞（10時10分～10時35分）



⑥しろテラスで登城記念購入（10時40分）



⑦小倉駅へ（11時）



⑧のぞみ 26 号で帰宅の途 (11 時 55 分より)



<五輪書> 感動の余り、武蔵による教えをメモする。

地の巻・・・自身の生涯と兵法について

水の巻・・・二天一流の奥義について

火の巻・・・戦いにおける心構えについて

風の巻・・・他の流派について

空の巻・・・心のあり様について